

令和4年度 太子町 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：1名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - ・認知症の人やその家族の相談や、医療や介護等関係機関へのつなぎ
 - ・支援を行う関係者が、情報交換や支援事例の検討などを行う連絡会議の設置
 - ・地元医師会や認知症サポート医とのネットワークの形成
 - ・認知症ケアパスの作成・普及
 - ・認知症の人と家族を支える地域の人材やサービス拠点についての情報収集
 - ・在宅介護サービス従事者への認知症研修の実施

報告者氏名：石橋 ありさ
(町担当及び認知症地域支援推進員)

太子町 認知症施策全体図 (令和5年3月31日現在)

認知症予防の推進

- ・ 出前講座「認知症にならないために」 実績：2回、25人
- ・ いきいき百歳体操 59グループ活動 認知症チェックを実施
- ・ もの忘れ相談 *要予約・無料
月1回、臨床心理士による検査と相談を実施
実績：10回、27人（異常なし：13人、異常あり：14人）
- ・ 認知症予防教室(社協委託) 11回実施、19名参加

医療体制の充実

- ・ かかりつけ医認知症対応力向上研修 1回実施
- ・ 病院勤務の医療従事者向け認知症対応力向上研修 1回実施

地域支援ネットワークの強化

- ・ 太子町オレンジライフサポート（認知症ケアパス）
- ・ 高齢者等安心見守りネットワーク事業 105事業所と協定締結
- ・ 高齢者等徘徊SOSネットワーク事業 33名登録
- ・ 太子町あんしん見守りキーホルダー登録事業 1,124名登録
- ・ 認知症サポーター養成講座
11回実施、573名のサポーター誕生
累計サポーター数：6,861名
(うちキッズサポーター 4,187名)
- ・ 認知症サポーターフォローアップ講座 1回実施、8名受講
- ・ チームオレンジ 令和3年3月より設置
- ・ 認知症カフェ（オレンジカフェ）町内3ヵ所 うち1ヵ所開催
- ・ 本人ミーティング(オレンジ広場)の実施
17回実施、対象者5名、延べ参加数57名

標題 太子町における認知症予防への取組

令和4年度の活動経過

令和3年3月『チームオレンジ太子』を発足したものの、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、イベント等での認知症啓発活動は全て中止。令和4年度になり、徐々にイベント等が再開。

→①認知症講演会&映画上映会、②あすかふるさとまつり開催決定。
それを受け、チームオレンジの活動も再開へ。

①認知症講演会&映画上映会(令和4年9月11日開催)会場ロビーでの 認知症啓発コーナー設置

- ・コグニサイズ体験コーナーを設置 45名参加
- ・オレンジTシャツを着用して元気に活動しました。

②あすかふるさとまつり(令和4年11月3日開催)へ出店

- ・コグニサイズ体験コーナーを設置
- ・認知症啓発資料の展示、配布
- ・認知症サポーターキャラバンマスコットキャラクター「ロバ隊長」の革製作
- ・認知症カフェの啓発 等 150部配布

実施の効果及び課題

■実施の効果

認知症に関するチラシの配布だけではなく、実際に体験してもらうことで意識づけが高まり、日々の生活での行動変容につながる機会になった。

(参加者の声) ・参考になった

・認知症予防のために、これからも続けたい

■今後の課題と取組み

認知症施策推進大綱の基本的考え方にもある「予防」と「共生」社会の実現には、まず認知症に対する正しい知識の普及啓発が必要。

⇒機会を見つけて継続した取組みを実施していくことが必要。



最後に・・・

共生社会の実現に向けて、大切な仲間とともに、焦らず、できることから、コツコツと☆彡